

# 古高松地区コミュニティ協議会 広報誌

地域活性化のまちづくり特集  
(2～3面)



お月見コンサートでは二胡の音色で癒されました。(平成21年10月2日)

## 地区住民の健康を願って



古高松地区コミュニティ協議会

副会長 加藤 多美子

コミュニティ協議会では、幅広い分野でいろいろな活動がコミュニティセンターを拠点に活発に実施されています。いつも人と人とのふれあいがあり、明るい笑顔楽しい笑い声が聞こえます。

健康で明るい町づくり地区住民の皆様の健康を願って環境問題、エコ対策、健全な食生活のための調理実習など女性のアイデアで企画実行されています。

上の写真は十月二日にエコ対策の一環として実施したお月見コンサートです。あいにくの雨でホールでコンサートを開きました。廃油から作ったローソクのほのかな明り、幻想的な雰囲気の中、二胡とピアノの音色にウットリ、心豊かな幸せなときを過しました。こんな素晴らしいコンサートを開催出来るのもコミュニティセンターがあるからです。

そして、文化祭、華やかな美の祭典人と人がふれあう文化祭。うどんもお寿司もぜんざいも本当においしかったです。

心も体も健康だと毎日が楽しく何事にも前向きになれると思います。食育を通じて未来ある子供達のために健全で規則正しい生活バランスのとれた食生活を指針してゆかなければならないと思います。

私達女性の愛と笑顔で古高松コミュニティセンターが明るい楽しい生き生きとした“ふれあいサロン”になるようにまですばらしい企画をコミュニティ協議会より発信します。





駅周辺活性化セレモニー風景

# 地域住民による

## 屋島駅周辺活性化に向けて

地域活性化部会 部会長 岡 春男

JR屋島駅は古くは古高松は勿論のこと屋島、牟礼地域の交通、物流の拠点として栄え駅前もそれなりの賑わいがあった。  
時代は変わり駅前も寂しくなり、ただ屋島山だけが悠然と我々を送迎してくれている。  
古高松地区コミュニティ協議会ではJR四国より屋島駅舎を地域振興や、観光振興の拠点とし、また、駅業務の

受託ができないかとの提案があり、屋島駅周辺自治会、元気YASIMA創ろう会、鉄道OB会、JR四国担当者を交え二十数回に及ぶ協議を経て、活動団体として「JR屋島駅盛りあげ隊」を結成し、昨年十二月十三日には、元気YASIMAを創ろう会が観光振興スペースを開設し、更に今年七月十三日には地域振興スペース「駅舎ギャラリー」の開設と、券売業務を含む駅の管理業務を開始しました。

この事業は、JR屋島駅の駅舎を拠点として、①古高松地区コミュニティ協議会が周辺地域の活性化を、②元気YASIMAを創ろう会が観光促進活動を、③JR四国がこの駅を、地域に根ざした駅としての再生を目指します。お互いにパートナーとなり、多様化する課題に、参加・協働で進める「新しいコミュニティを軸とした」まちづくりを推進します。

駅に向かって左側に観光案内所を設け、元気YASIMAを創ろう会の皆様が奉仕活動として土日祭日の午前十時より午後三時まで観光案内や自転車の貸し出しを行っています。

右側の約二十六平米を地域振興スペースとして、券売業務を含む駅の管理業務、空きスペースをギャラリーとし、



名誉駅長のポンタ(右)とポンナ

幼稚園、小、中学校、同好会、一般の方々の作品を一ヶ月毎に展示しています。  
JR屋島駅のイメージキャラクターとしてタヌキのぽんぼ「ポンタ」を名誉駅長に、「ポンナ」(一般公募により命名)を観光駅長に、それぞれJR四国から委嘱状を授与されました。  
全面オープンから、既に四ヶ月が過ぎ、地域住民や帰省等で駅を利用される方々からギャラリーの展示物も中々良く、駅が明るくなり、駅についてのきホットした気持ちになれる。と上々の評判を頂いております。また、休日にはギャラリーに展示された児童、生徒、同好会の方々の家族、友達等による見学が多く、また、散歩途中立ち寄る人々の会話も弾みサロンとしての役割も果たし、新しく、楽しい賑わいのかもし出しています。



同好会の作品を展示した駅舎ギャラリー

JR屋島盛りあげ隊においては更なる発展を目指して毎月一回の定例会を開き、地域住民、乗客、観光客の声や反応を皆で確認し合い、ギャラリーの展示物や新しい目標や行事予定の策定確認を行い駅の除草、清掃も行っています。

昨年十二月十三日(日)には、元気YASIMAを創ろう会が主催する「駅からウォーク」で甘酒をお接待しました。「駅からウォーク」の予定は次の通りです。

一月十六日(土)  
三月十三日(土)

私どものこの「新しいまちおこし」に、今後とも、皆様のご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



# 平成21年度定期総会開く 本年度事業計画・役員決まる

## 「安全安心なまちづくり」へ総意と工夫

古高松地区コミュニティ協議会の平成二十一年度定期総会は、五月十六日午後、古高松コミュニティセンター大ホールで開かれ、「安全安心なまちづくり」を目指す本年度の事業計画、役員などを決めた。

総会には、各構成団体の代表者はじめ来賓らが出席。はじめに全員で「高松市民のねがい」を朗読、加藤直之会長を議長に各議案を審議しました。

その結果、①平成二十年度事業報告・決算報告②監査報告③平成二十一年度事業計画案・予算案などの各議案を、それぞれ満場一致で原案通り承認、役員改選を行いました。

平成二十一年度の事業計画、新役員は次の通り。

### 【事業計画】

#### 一、コミュニティプランに基づく事業の推進

##### ①明日へのまちづくり

- ・企画・広報部会
- ・広報誌の発行（年一回）
- ・リーダー研修会は同好会等を対象にしたAEDの講習会を開催する。
- ②健やかに育つふれあいのまちづくり
- （文化・生涯学習部会）

- ・自治会から選出され増員した「歩き人」を持続させ、両小学校から各地域までの間で、子ども達を見守る活動を強化、増員を図る。
- ・生涯学習事業の中の世代間交流を充実させ、子どもから大人までが学べる場を提供する。

##### ③支え合う安心なまちづくり

（健康・福祉部会）

- ・身近な地域の高齢者の方々が気軽に集まり、今一度地域の連帯を深めるために「ふれあいサロン古高松」の振興と定着化を図る。

##### ④清潔で安全なまちづくり

（環境・安全部会）

- ・河川一斉清掃など地域内の環境の保全に努める。
- ・安全で安心な交通環境の実現のために、キャンペーンを実施するとともに地区内の交通安全施設の点検を実施する。
- ・児童の下校見守りパトロール、校内巡視を実施する。
- ・災害発生時の要援護者対策の取り組みなどを進める。

- ・婦人による家庭防火の啓発に努める。

##### ⑤地域活性化のまちづくり

（地域活性化部会）

- ・JR屋島駅舎等を活用した地域振興および券売業務ならびに屋島観光の活性化に努める。また、清掃業務を実施するなど周辺の環境美化に努める。

#### 二、まちづくり事業（第十六回）

- 旧高松城まつり（第十二回）を開催。

#### 三、部会の定例化（全部会）

#### 四、コミュニティセンターの適正な管理



### 平成二十一年度役員

#### 古高松地区コミュニティ協議会

- 会長 加藤 直之  
副会長 中條 文雄、池内 静雄  
理事 加藤 多美子  
植村 芳弘  
（企画広報部長）  
藤本 豊  
（文化・生涯学習部長）  
加藤 昭  
（健康・福祉部長）  
川田 優  
（環境・安全部長）  
岡 春男  
（地域活性化部長）  
坂下 且人、長町 隆司  
佐々木 勝英、松尾 崇広  
辻 文栄、塚原 久  
香西 繁治、川田 崇広  
一三三 清、青木 周作  
伊井 智子

#### 古高松地区コミュニティセンター 管理運営委員会

- 委員長 加藤 直之  
副委員長 黒田 武彦  
委員 佐々木ナミエ、加藤 昭  
中條 文雄、小西 久美子  
加藤 豊、坂下 且人  
牧野 春彦、山根 浩  
長町 隆司

#### 古高松地区コミュニティセンター 職員選考委員会

- 委員長 加藤 直之  
委員 黒田 武彦、間島 貴子  
中條 文雄、長町 隆司



# 平成21年度 文化祭特集



## 古高松コミュニティセンター

●期間／10月30日(金)～11月1日(日)



様々な四季を表現した  
デジカメとフィルム写真の  
講座の作品展



学習発表会では  
歌や舞踊などを披露



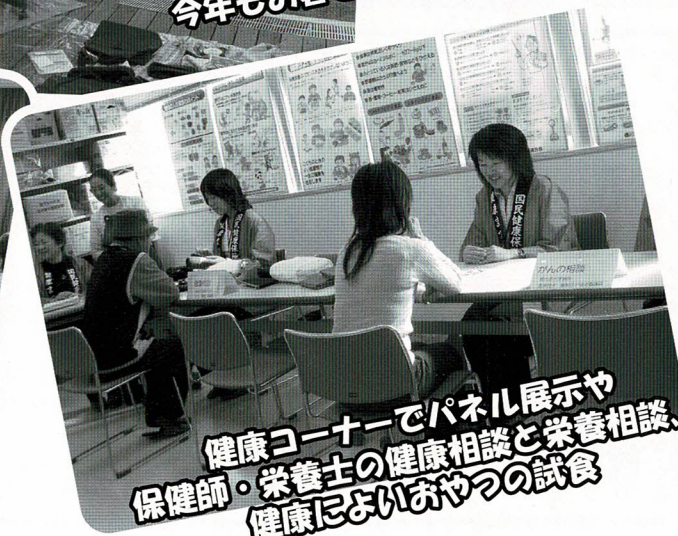
同好会の作品展を開催  
すばらしい作品が展示されました



毎年恒例のフリーマーケットは  
今年もお客さんでいっぱい



童謡からシャッソンまで...  
歌奏風月の皆さんの歌・フルート  
・ピアノの屋下がりコンサート



健康コーナーでパネル展示や  
保健師・栄養士の健康相談と栄養相談、  
健康によいおやつを試食



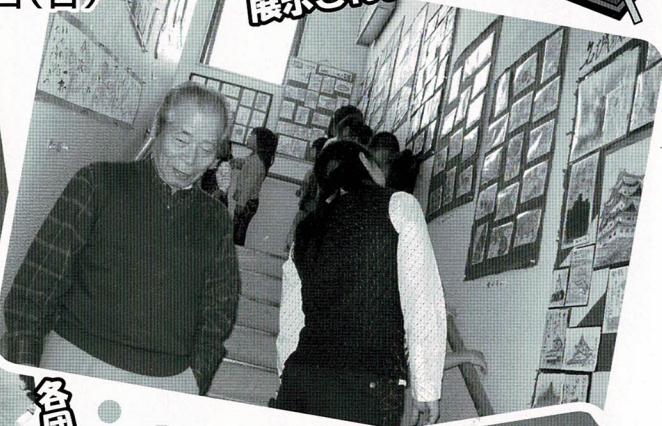
# 古高松南コミュニティセンター

● 期間 / 10月23日(金)～10月25日(日)

絵手紙教室の力作が  
展示されました



子どもバレエ教室の子どもたちが  
日頃の成果を披露



各団体の力作が所狭しと  
展示されました



アマチュア落語家の金万亭出膳さん  
・お稽古さんの夫婦寄席



春日幼稚園と  
新田幼稚園の園児たちを  
お招きしてのお茶席

古高松絵画同好会は、先の古高松公民館時代同館にて、指導者を招いての「絵画講座」が開催され、好評の中にも平成十一年度に終了しました。出席者の中から、継続的に絵を習いたい「との要望が多数あり、公民館許可のもと、平成十二年度より「同好会」として発足。現在は高松市内でも指導者として各教室を持つ方も数名、熟練者から初心者までが一堂に会し特に指導者はおかないで参加者みなさんが共に教え教えられながら楽しく活気ある絵画教室を自主運営しています。絵画内容は、鉛筆デッサン、

## 同好会あれこれ

「古高松絵画同好会」村 井 武 典

はがき絵、水彩画、油絵、水墨等、好きな手法で描いています。教室は毎月第一、第二木曜日午前十時から十二時迄古高松コミュニティセンターにて実施しています。対象物は花、静物、野菜、果物、風景、人物、他と広範囲に亘っています。又、季節によつては屋外教室も実施し作品は各地で開催される展示会にも出展しています。気軽に立ち寄って下さい。自由參觀歓迎しています。是非一緒に描いてみませんか。皆様のご入会一同心からお待ちしております。

両コミュニティセンター同好会では  
皆様の入会を  
お待ちしております。  
見学できますので  
お気軽に  
ご来館ください。





# トピックス

## 活動報告から

### 交通安全キャンペーン

コミュニティ協議会の環境安全部会では四月から数回の交通安全キャンペーンを行いました。そのうち、平成二十一年四月十日(金)午前七時半から八時まで、春日町のコカコーラ西交差点で『交通事故死ゼロを目指す日』街頭大キャンペーンを実施しました。早朝のラッシュ時に、交通安全の啓発のぼりやパネルを利用したキャンペーンです。道路外から無言でドライバリーや自転車を利用する皆さんに呼びかけるものです。



9月30日の小山交差点のキャンペーン

### 高齢者教室から

平成二十一年八月二十八日(金)香川国際交流員 韓国の林善雅(イム・ソナ)先生を招いて国際交流講座が開催されました。当日は観光のお話を中心に、歴史背景について触れながら大変わかりやすくお話ししていただきました。



日本語が流ちょうなソナ先生の講座

### 女性教室から

平成二十一年十月二十二日(木)『人権学習』の一環として高松さんかくゆめ一座の寸劇「介護にもさんかくの風を」を観ました。公演の後、参加者みんなで手話を交えて歌を歌いました。



会場の皆さんも一緒に♪

### 両コミセンの生涯学習について

講座のご案内はコミュニティセンターだよりに掲載しております。また、センターの窓口にも置いてありますのでご覧になってください。ご質問は電話でも結構です。

### きっぷうりばのご紹介

JR屋島駅業務責任者

和田 秀秋

地域振興スペースにカウンター窓口を新装オープンし、JR乗車券類の発売を行っています。その種類は乗車券、特急券(新幹線含む)、座席指定券、回数券(快でスキ通勤・通学含む)、定期券(快でスキ通勤・通学含む)、団体乗車券。そして、トクトクキップでは、阪神往復フリーきっぷ、トクトク二枚・四枚回数券、Sきっぷ、自由席特急回数券、四国フリーきっぷ、及びジパング倶楽部・四国エンジンジョイクラブによる割引乗車券類など取扱っています。

#### ●営業時間

七時～十一時三十分  
十四時～十八時まで

#### ●定休日/水曜日

#### ●電話・FAX

〇八七―八四―一四三九二







太極拳は初めての体験

また、太極拳同好会の方のご厚意で一緒に練習をしました。一日だけでしたが、コミュニティセンターの仕事や来られている方の様子を知ってもらえてよかったです。

## 古高松中学校3年生が ボランティア活動



女性防火クラブの皆さんがお手本を！

訓練の後、自主防災会連合会川田会長より、住宅用火災警報器の設置についての説明がありました。

- 〈実技指導内容〉
- ・ 防災資機材の使い方  
(担架の組み立てや毛布と竹の棒を使った担架作り)
  - ・ 消火器の取扱い
  - ・ AED(自動体外式除細動器)を用いた救命処置と心肺蘇生とAEDの手順体験
  - ・ 三角巾を使った応急手当

秋には、春日町、高松町、新田町の三町ごとで古高松地区自主防災連合会・女性防火クラブ主催の防災訓練を実施しました。消防団や高松東消防署の皆さんも指導に来て下さいました。



防災資機材の使い方の説明



消火訓練の体験

## 住宅用火災警報器を 設置しましょう!!

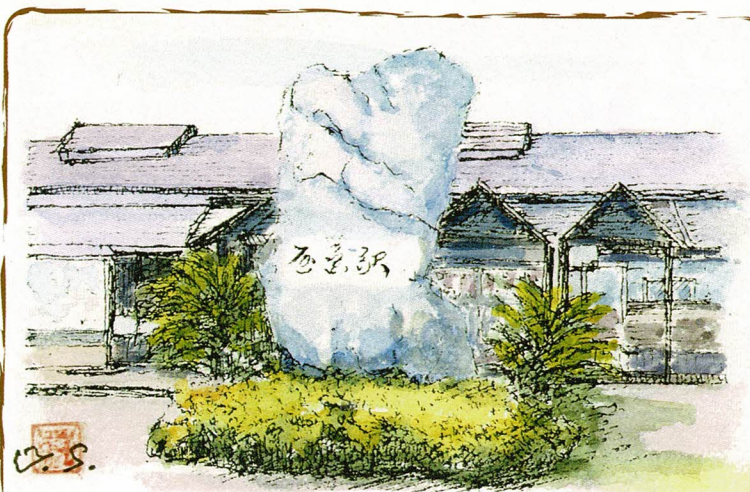
古高松地区自主防災連合会 会長 川 田 優

全ての住宅に必ず火災警報器の設置が必要です。平成16年に消防法が変わり、高松市火災予防条例で火災警報器の取り付け場所として寝室などが決められました。

新築住宅は平成18年から建築と同時に、現在住んでいる住宅については、平成23年5月31日までに設置が必要です。これからどの住宅にも火災警報器の設置が必要です。







## ふるさと点描

### J R屋島駅 (高松町)

新たな地域活性化事業としての取り組みが平成二十一年七月から始まったばかり。愛着のある駅“を”目指し、お接待の心“で”観光客を迎えるだけでなく、地域の文化活動も発信します。

国鉄から分割民営化へ、マツチ箱“の”小型貨客車からSL、気動車へと大きな時代の流れの中で、駅舎の歴史を重ねて八十五年になります。駅の開設は高徳線の高松―志度間が開通した大正十四(一九二五)年八月一日。ちんちん電車といわれ、今橋―志度間に高松で初めて姿を見せた電車の開通から十五年後のことで、古高松小学校で盛大に開通祝賀会が行われました。

当時、駅の設定場所については、古高松、牟礼両村が誘致運動を展開しましたが、名

所屋島に接近した古高松に軍配が上がり、「古高松駅」が誕生しました。しかし、全国的に知られた観光地屋島の玄関口として名称が「屋島駅」に改正されました。元鉄道大臣、三土忠造氏の尽力によるものといわれています。

駅の規模は、旅客、貨物両方の取り扱い駅となり、高松東部地区の物流拠点駅として発展していきます。開通当時の刊行の「屋島駅案内」には「この地方の開発にもたらす恩恵は誠に大。名所旧跡にも富み遊人旅客の便益の程も思われ」とあります。駅前(運送業者が開通記念に植樹した藤が、毎年、見事な白い花をつけ、乗降客を楽しませていました。

(絵・清水 純一)

## パワー全開!! 高齢者の体力測定会



高齢者向け体力測定会

古高松地区老人クラブ連合会は、昨年10月17日古高松小学校体育館に86人の会員が参加して「体力測定会」を開催しました。握力、開眼片足立ち、上体起こしなど6種目を競技、終了後、測定結果に見入る参加者、今回の測定結果については、「自信がついた」「ほぼ満足」という人から「体力の衰えを感じた」「日頃の運動不足を痛感した」など、自分の体力を知ることができたことを喜んでいました。これからの生活習慣を見直すよい機会となりました。



## 編集後記

○今回もJRの屋島駅の活性化事業について取り上げさせていただきました。JR屋島盛りのあけ隊」結成後、約一年が経ち徐々に賑わいを取り戻しているようです。今後とも皆様方の活動に期待させていきます。

また、空スペースを利用したギャラリーもございますので、ぜひお立ち寄りくださいませ。(編)

## 目録コンサートで使った 廃油で作ったろうそくの作り方



### ◇材料(キャンドル1個分)

- 廃油/100ml ●廃油凝固剤/7gくらい
- クレヨン/少量
- 容器(ジャムの瓶などで口が広くて浅い瓶が良い)
- タコ糸やティッシュをより合わせたものでも可

### ◇作り方

1. 廃油は作る前に油かすなどを取り除く
  2. 色をつけるクレヨンを刻んでおく
  3. 芯にするタコ糸を5cmくらい切る
  4. 鍋で廃油を60度くらいに温め、刻んだクレヨンを入れる
  5. 廃油凝固剤を入れてかき混ぜる
  6. 3の芯を鍋に入れて、廃油を染み込ませ、新聞のうえのせて伸ばして乾かしておく
  7. 火を止めて、固まる前に容器に注ぐ
  8. 廃油が固まり始めたら、芯をキャンドルの中心に差し込む
  9. 冷めたら、芯を適当な長さに切る
- ◎作業している間は換気をする。